

シテラ機能ポール

電気自動車向け CHARRY コンセントボックス 施工説明書

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は、必ず電気工事店へ依頼してください。
- コンセント・200V 専用タイマーの故障の際には、お近くの電気工事店・電気店へご相談ください。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

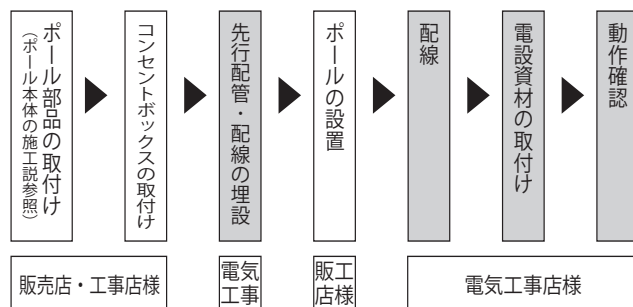
- 本商品は、シテラ機能ポールカスタム ヨコ型、1 型専用用品です。指定以外のポールに取付けしないでください。
- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。
- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響を受けるような場所に設置しないでください。火災・感電・落下・サビの原因になります。
- 施工場所に正しく納まるか確認してください。（寸法・配線・配管等）特にコンセントボックスはポールから突出しますので、設置上危険のない位置へ設置してください。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱には十分注意してください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

- 基礎施工は基準通りに行ってください。また、現場の状況（軟弱地盤など）に応じて基礎の大きさを考慮してください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 寒冷地ではポールを立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてからポールを立てると、ポール内部に水が入り凍結破損の原因になります。
- 電設資材の配線工事は、必ず電気工事店様（有資格者）に依頼してください。
- ポール内部・家側からの配管は、PF 管呼び 16 と 22 を使用してください。
- 電装商品の配線はあらかじめ 2m 位立ち上げておいてください。
- CD 管・配線などの電設資材は、現場手配品となります。
- 防水コンセント・200V 専用タイマーは別売の電設資材セットを使用してください。
- 養生期間は十分（4 日～1 週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。
- φ 24 のホールソーが必要になります。

施工の流れ



この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意

- 本体を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- コンセントボックスの上には乗らないでください。
- コンセントボックスの開閉時に手や指をはさまないように注意してください。
- 年に一回、ネジやボルトの緩みがないか、確認してください。

注意

- 結線や電設資材の取付けなどの電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

注意

コンセントボックスの取付けは、機能ポール本体の埋め込み前に行ってください。

※埋め込み後は、コンセントボックスを取付けられなくなります。



シテラ機能ポール本体の施工説明書を合わせて参照してください。

- ・「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型・タテ型」（ヨコ型の場合）[ME-2123]
- ・「シテラ機能ポール」（1 型の場合）[ME-2092]

もくじ

梱包明細	2	2. シテラ機能ポール 1 型への取付け	14
電設資材について	2	2-1 施工手順の確認	14
納まり図	3	2-2 CD 管の取外し	15
1. シテラ機能ポールカスタムヨコ型への取付け	4	2-3 コンセントボックスの取付け	15
1-1 施工手順の確認	4	2-4 配線孔の加工	16
1-2 ポールの切り欠き加工	5	2-5 先行配管・配線の埋設（電気工事）	17
1-3 デザインパネルの取付け	5	2-6 ポールの設置	18
1-4 コンセントボックスの取付け	8	2-7 コンセントボックスの配線（電気工事）	18
1-5 配線孔の加工	9	3. 電設資材の取付け（電気工事）	19
1-6 アールカバーの取付け	10	3-1 電設資材の取付け	19
1-7 パネル下側の固定	11	3-2 動作確認	19
1-8 先行配管・配線の埋設（電気工事）	12	4. ダイヤル錠の使いかた	20
1-9 ポールの設置	13	施工工事店様、販売店様へのお願い	20
1-10 コンセントボックスの配線（電気工事）	13		

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称	梱包内容	表内の（ ）は個数を表しています。
コンセントボックス	コンセントボックス（1）・固定ブラケット（2）・鍵調整部品（1）・シール（1）・加工用型紙（1） パイロットコード（1）・ブチルテープ（4）・施工説明書 [ME-2173]（1） ビスセット [φ 4 × 16 セルフドリリングビス（14）]	

電設資材について

●防水コンセント・200V 専用タイマーなどの電設資材は、別売品を手配してください。

別売の電設資材

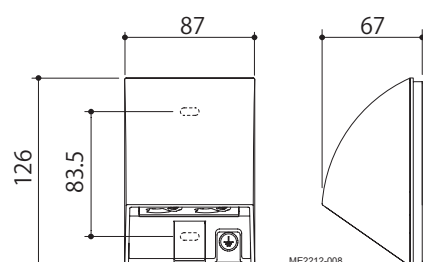
● 200V 専用タイマー・コンセント組み合わせ可否表

	100V コンセントのみ	200V コンセントのみ	100V+200V コンセント
200V 専用タイマーあり	×	○※	○※
200V 専用タイマーなし	○	○	○

※定格 15A の電設資材です。
電気自動車の容量を確認の上、ご利用ください。

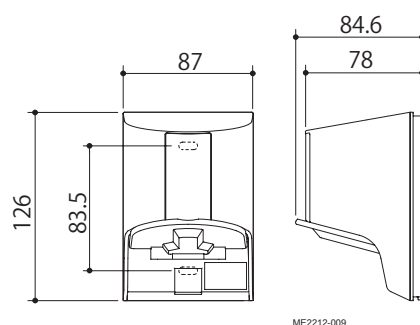
● 100V コンセント

パナソニック電工製：WK4602SK
（定格 15A 125V AC）



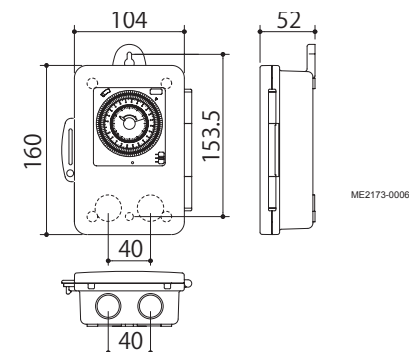
● 100V,200V コンセント

パナソニック電工製：WK4322S（定格 20A 250V AC）
WK4311S（定格 15A 125V AC）



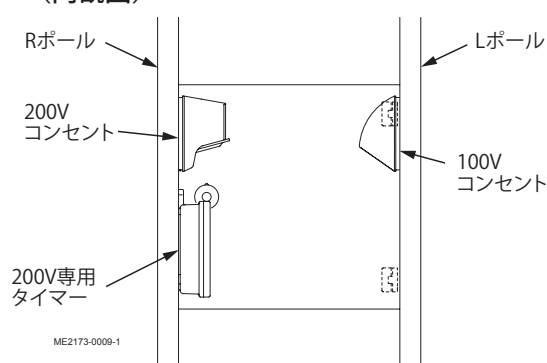
● 200V 専用タイマー

パナソニック電工製：TB31202
（定格 15A 200V AC）

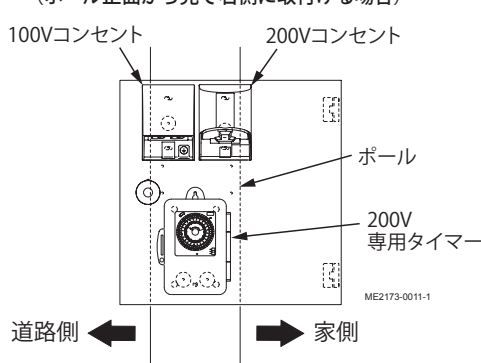


電設資材の取付位置

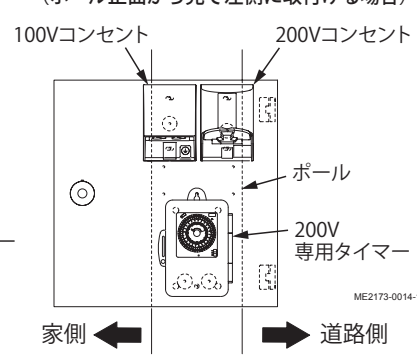
●シテラ機能ポールカスタム ヨコ型 （内観図）



●シテラ機能ポール 1 型 （ポール正面から見て右側に取付ける場合）



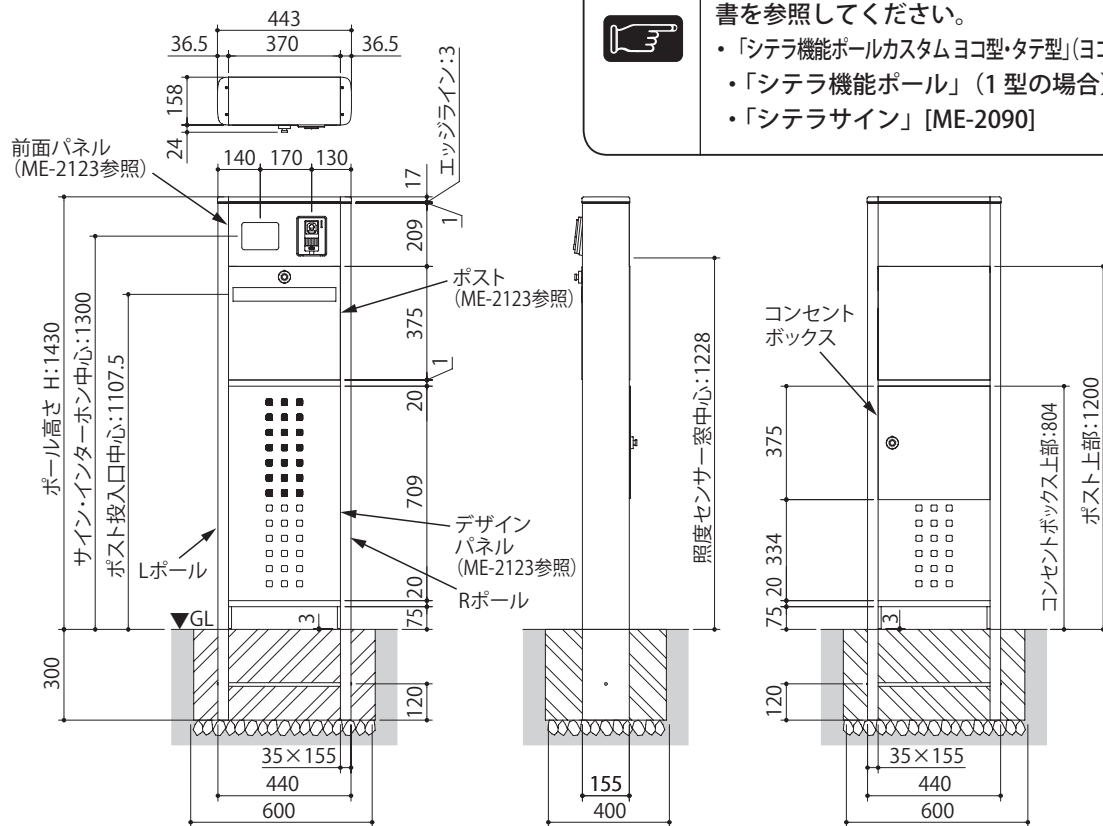
●シテラ機能ポール 1 型 （ポール正面から見て左側に取付ける場合）



納まり図

●施工前に必ず確認してください。

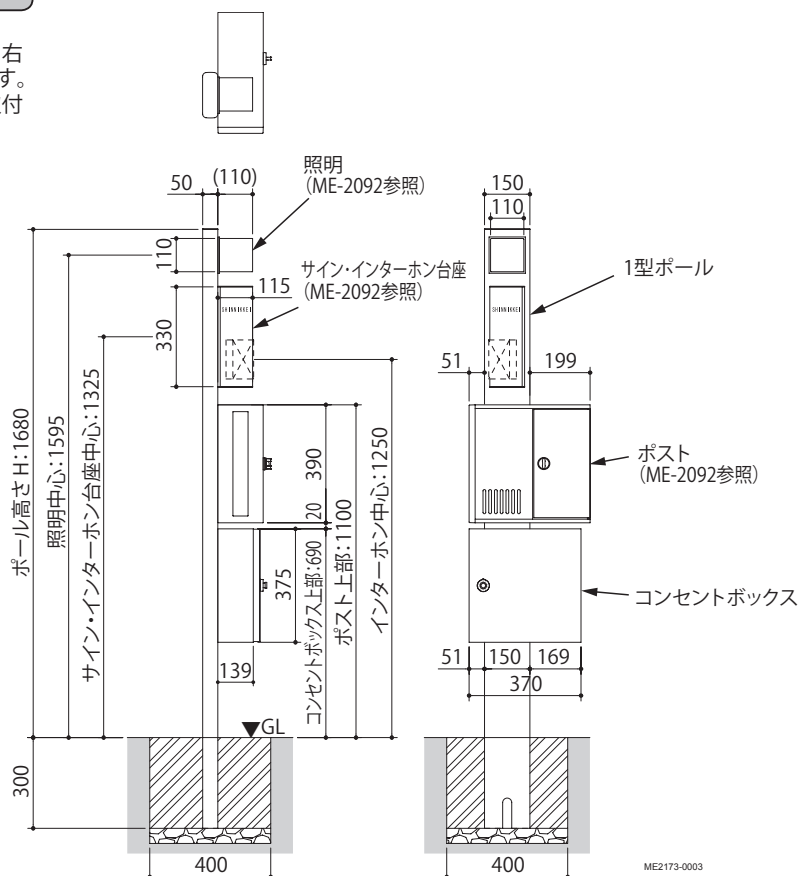
シテラ機能ポールカスタム ヨコ型



ME2173-0004

シテラ機能ポール 1 型

※本図は、機能品をポール正面から見て右側に取付ける場合の図で説明しています。
※機能品をポール正面から見て左側に取付ける場合は左右対称となります。



ME2173-0003

1

シテラ機能ポールカスタム ヨコ型への取付け

●シテラ機能ポール1型に取付ける場合は、「2. シテラ機能ポールへの取付け」(14 ページ)に進んでください。

1-1 施工手順の確認

◎コンセントボックス（本商品）は、ポール本体と同時に施工します。はじめに、下記を参照して施工手順を確認してください。

⚠ 注意

取付手順を守ってコンセントボックスを取付けてください。

※取付手順どおりに施工しないと、機能品やコンセントボックスが取付けられなくなる場合があります。



- 「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型・タテ型」施工説明書 [ME-2123] を合わせて参照してください。
- オプション品を取付ける場合は、下記の「施工の流れ」を確認し、ポール本体の埋め込み前に取付けてください。
- コンセントボックスと下記のオプション品の組み合わせはできません。
 - ・デザインパネル（たて格子）
 - ・デザインパネル（よこ格子）
 - ・LED フットライト

●施工の流れ

施工手順	参照説明書	章番号 (□)・節番号 ([])	
1) ポールの切り欠き加工	本説明書	[1-2]	
2) 溝ふさぎカバーの取付け	ME-2123	1	
3) 巾決め材の取付け		2	
4) 前面パネルの取付け		3	
5) ポストの取付け		4	
6) ポールの取付け		5	
7) デザインパネルの取付け	本説明書	[1-3]	
8) コンセントボックスの取付け		[1-4]	
9) 配線孔の加工		[1-5]	
10) プランターハンガー・棚板の取付け (オプション)	ME-2123	13	
11) アールカバーの取付け	本説明書	[1-6]	
12) パネル下側の固定		[1-7]	
13) 門柱の設置 (オプション)	ME-2123	6	
14) 先行配管・配線の埋設 (電気工事)	本説明書	[1-8]	インターホン・照明の配線は [ME-2123] 7
15) ポールの設置		[1-9]	
16) インターホン子機の取付け	ME-2123	8	
17) 照明の取付け		9	
18) 背面パネルの取付け		10	
19) エッジライン・キャップの取付け		11	
20) コンセントボックスの配線 (電気工事)	本説明書	[1-10]	
21) 電設資材の取付け (電気工事)		[3-1]	

1-2 ポールの切り欠き加工

- ①出荷時にポール内にセットされている CD 管を取外してください。



取外した CD 管は後工程で再び使用しますので、無くさないようにしてください。

- ② 2 本のポール（L および R）の下側に、切り欠き加工を追加してください。



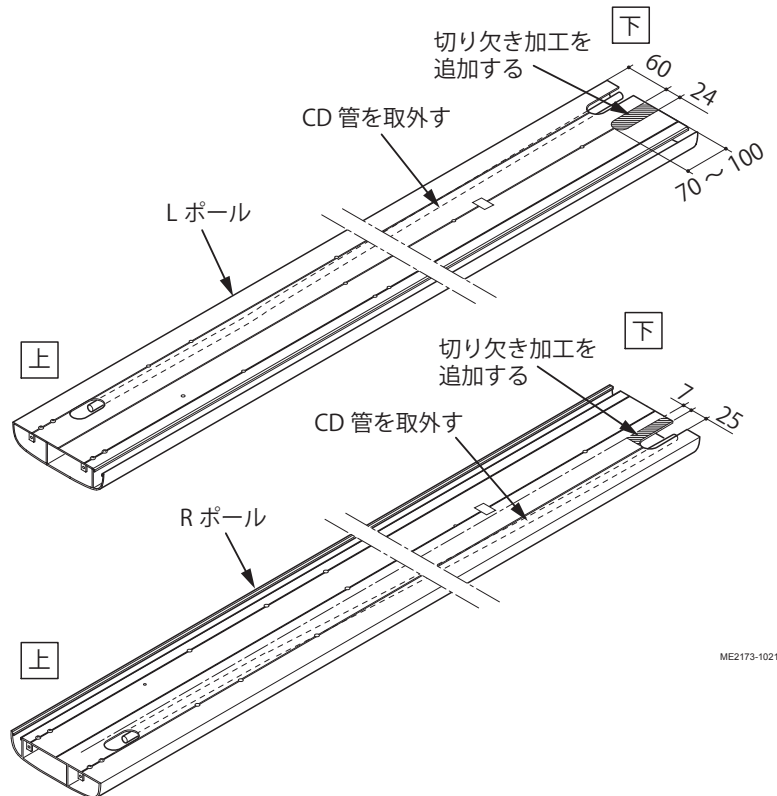
L と R で切り欠き位置・形状が異なりますので注意してください。



ポールの切り欠き加工後は、「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型・タテ型」施工説明書 [ME-2123] にしたがって、下記を行ってください。

- ・溝ふさぎカバーの取付け
- ・巾決め材の取付け
- ・前面パネルの取付け
- ・ポストの取付け
- ・ポールの取付け

※「1-1. 施工手順の確認」を参照



ME2173-1021

1-3 デザインパネルの取付け

- ①オプション取付金具をパネル枠に取付けてください。



オプション取付金具、パネル枠および取付ビスは、板パネル枠セットに同梱されています。

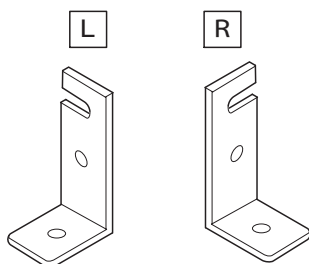


パネル枠は 2 本あります。もう 1 本のパネル枠は後工程で取付けます。



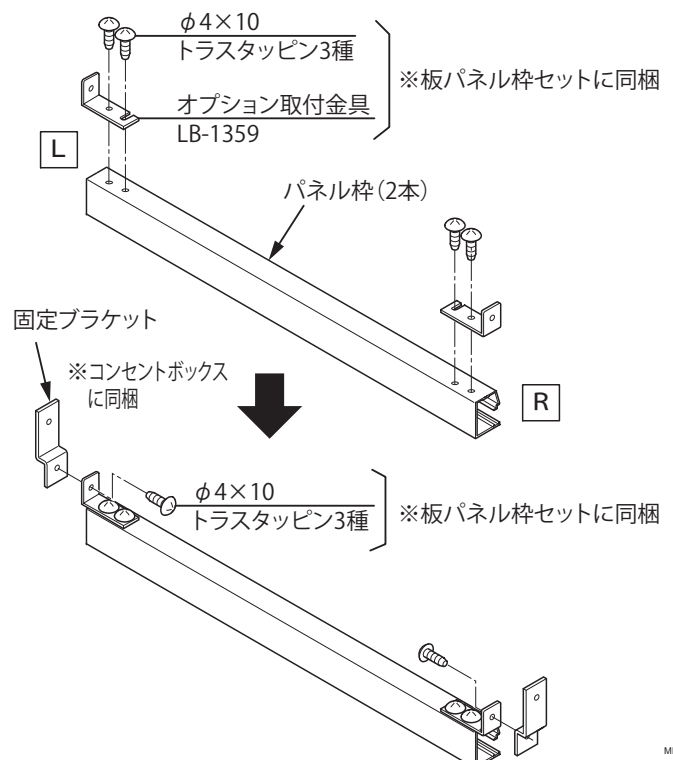
オプション取付金具には L・R があります。

●オプション取付金具の向き



ME2123-1004

- ②固定ブラケットをパネル枠に取付けてください。



ME2173-1001

シテラ機能ポールカスタム ヨコ型への取付け

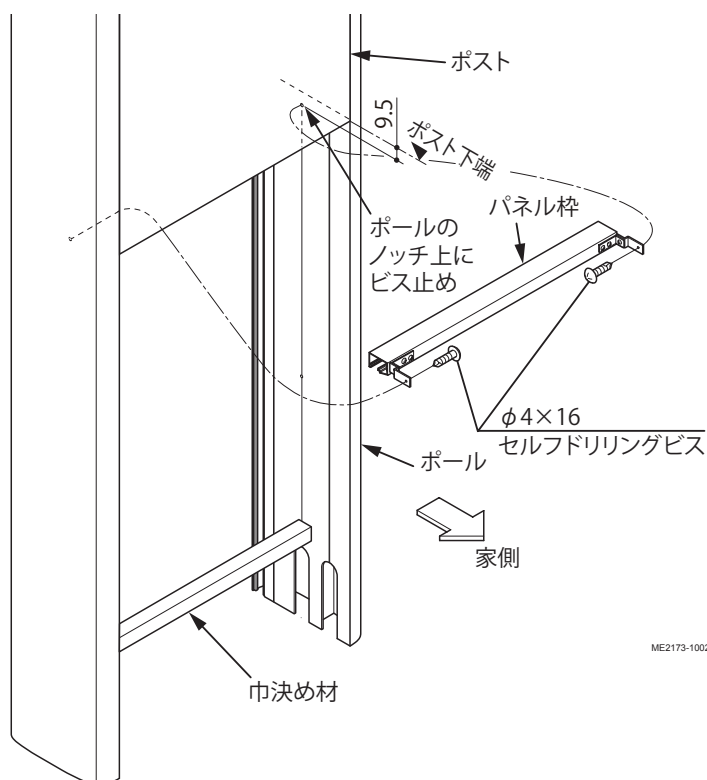
- ③パネル枠をポールのポスト下に取付けてください。



ポスト下端より 9.5mm の位置、ポールのノッチ上にセルフドリリングビスで取付けてください。



取付ビスは、コンセントボックスに同梱されています。

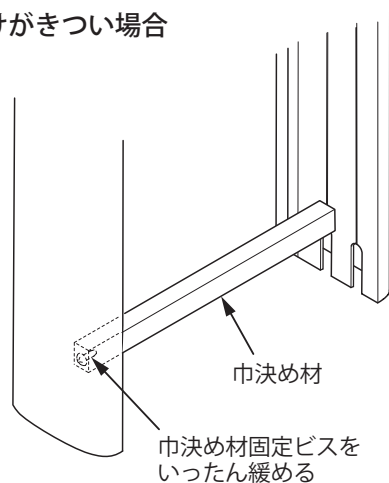


ME2173-1002



取付けがきつい場合は、巾決め材固定ビスをいったん緩めてください。

●取付けがきつい場合



ME2173-1029

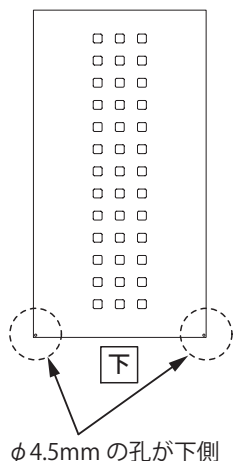
- ④片側のポールにデザインパネルを差し込んでから、ポールにはめ込んでください。



パネルには、上・下があります。角に孔があいている方が「下」です。

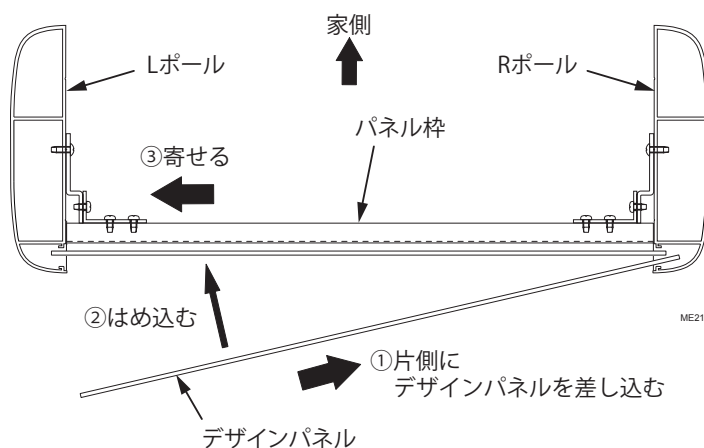
●パネルの上・下

上



ME2173-0002

●横断面図



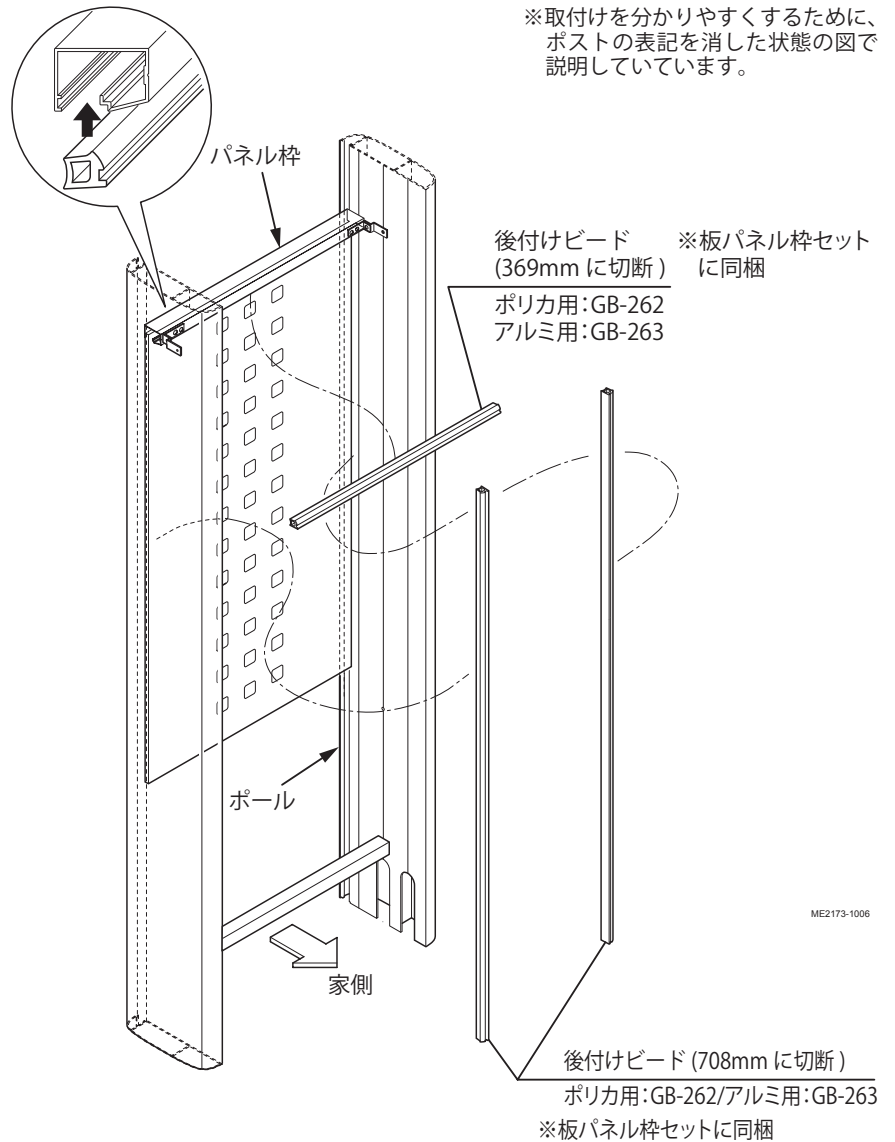
ME2173-1003

⑤後付けビードを現物合わせで切断してください。

	ビードは切断寸法 ・上枠用 369mm ・左右枠用 708mm
	後付けビードは、板パネル枠セットに梱包されています。

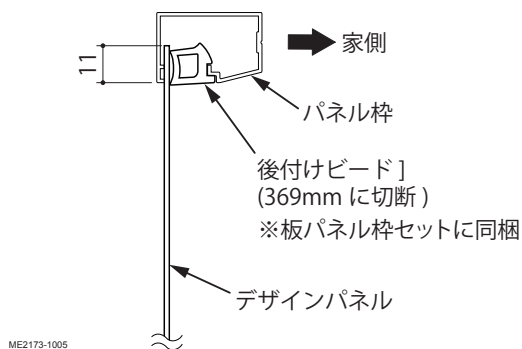
⑥ポールの家側より、上枠および左右枠の溝に後付けビードを取付けてください。

	デザインパネルが中央にくるように、左右を均等に調整してください。
	ビードの向きに注意してください。 ※断面図のようにしてください。
	下枠用のビードは後工程で取付けます。



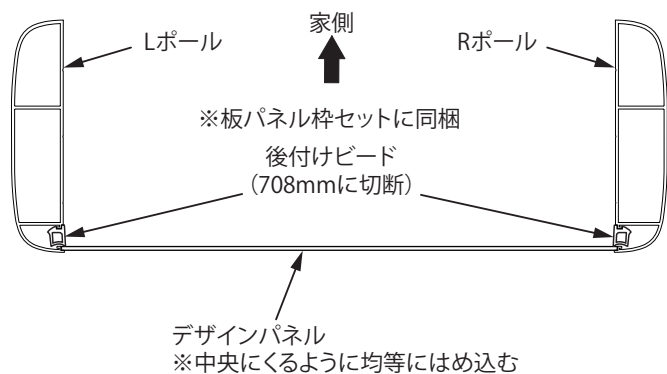
ME2173-1006

●縦断面図（上枠）



ME2173-1005

●横断面図（左右枠）



ME2173-1004

1-4 コンセントボックスの取付け

- ①コンセントボックスの側面のポンチ位置に
φ5mmの孔をあけてください。

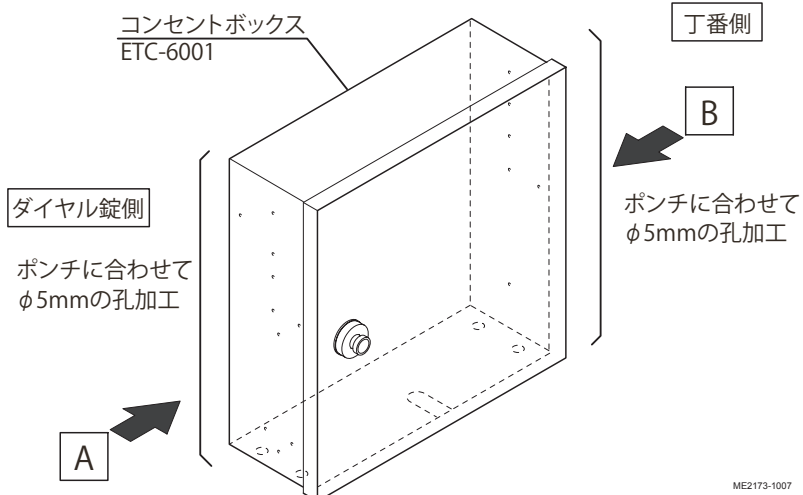
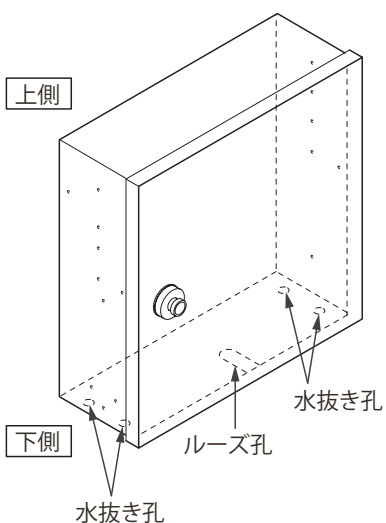


ポンチは16ヶ所あります。
使用する電設資材に合わせて必要な箇所に
孔をあけてください。

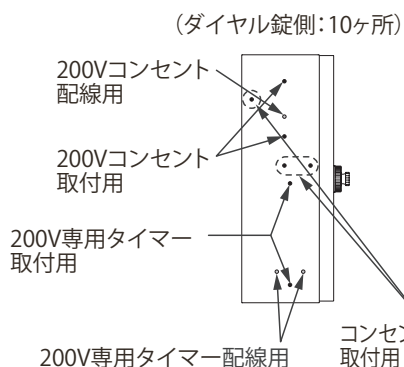


コンセントボックスには上下があります。
ルーズ孔、水抜き孔のある面が下側です。

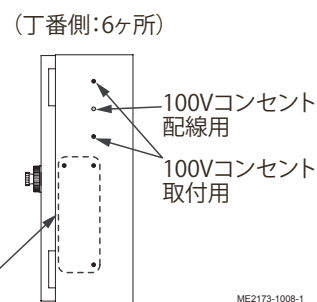
●コンセントボックスの上下



●ポンチ位置と用途 (A から見る)



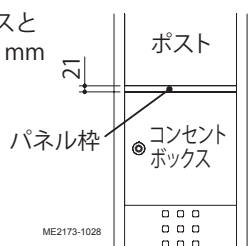
(B から見る)



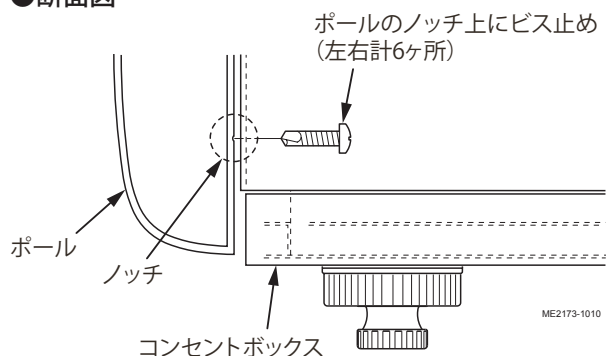
- ②コンセントボックスをポールに取付けてください。

コンセントボックスの上面をパネル枠にあて、ポールのノッチ上にセルフドリリングビスで取付けてください。

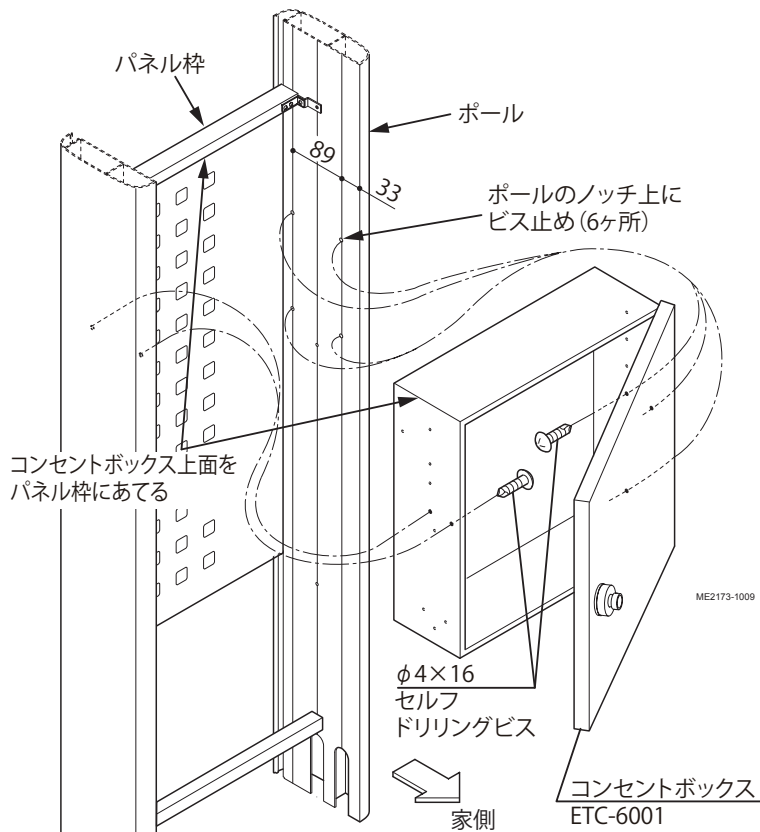
※コンセントボックスと
ポストの間隔が21mm
になります。



●断面図



※取付けを分かりやすくするために、ポストの表記を
消した状態の図で説明しています。



1-5 配線孔の加工

- ①使用する電設資材に合わせて、配線用の孔φ 24mm に広げてください。

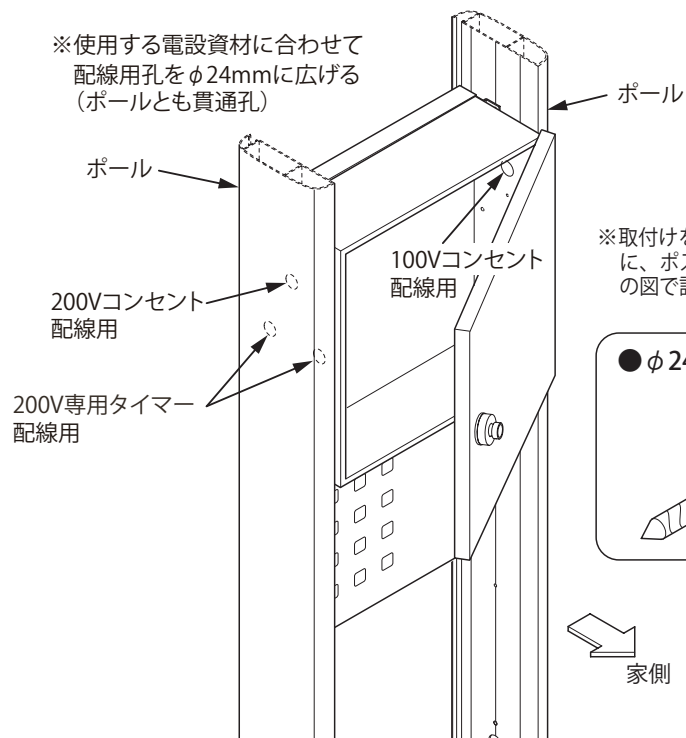
- ポール内側までφ 24mm の貫通孔をあけてください。
- ポール外側まで孔をあけないように注意してください。

電設資材の種類	孔数
200V コンセント	1ヶ所
100V コンセント	1ヶ所
200V 専用タイマー	2ヶ所



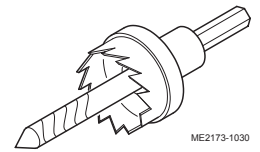
孔あけにはφ 24mm ホールソーを使用してください。

※使用する電設資材に合わせて配線用孔をφ24mmに広げる（ポールとも貫通孔）



※取付けを分かりやすくするために、ポストの表記を消した状態の図で説明しています。

- φ 24mm ホールソー



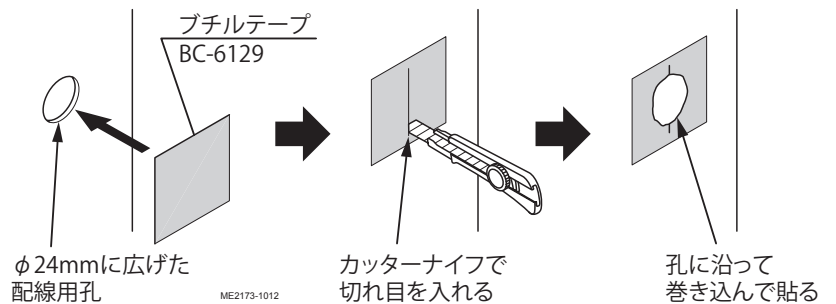
ME2173-1011-1

- ②配線の保護のため、プチルテープをφ 24mm に広げた配線用の孔に貼り付けてください。



プチルテープはコンセントボックスに同梱されています。

- ③プチルテープの中心にカッターで切れ目を入れて、配線孔に沿って巻き込んで貼り付けてください。



1-6 アールカバーの取付け



オプション品のプランターハンガー・棚板を取付ける場合は、アールカバーをポールに取付ける前に取付けてください。
※「1-1. 施工手順の確認」および「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型・タテ型」施工説明書 [ME-2123] 参照

- ① 2本のデザインパネル用アールカバーの下側を 396mm 切断してください。



シテラ機能ポール デザインパネル用アールカバーを使用してください。

- ② アールカバーに $\phi 3.5$ mm の孔を各 1ヶ所あけてください。



孔をあけるとデザインパネル用アールカバーに L・R が発生します。

- ③ オプション取付金具をデザインパネル用アールカバーに取付けてください。

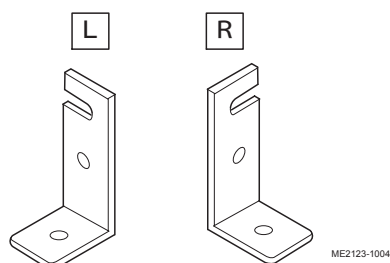


オプション取付金具および取付ビスは、板パネル枠セットに同梱されています。



オプション取付金具には L・R があります。

●オプション取付金具の向き



- ④ デザインパネル用アールカバーをポールに取付けてください。

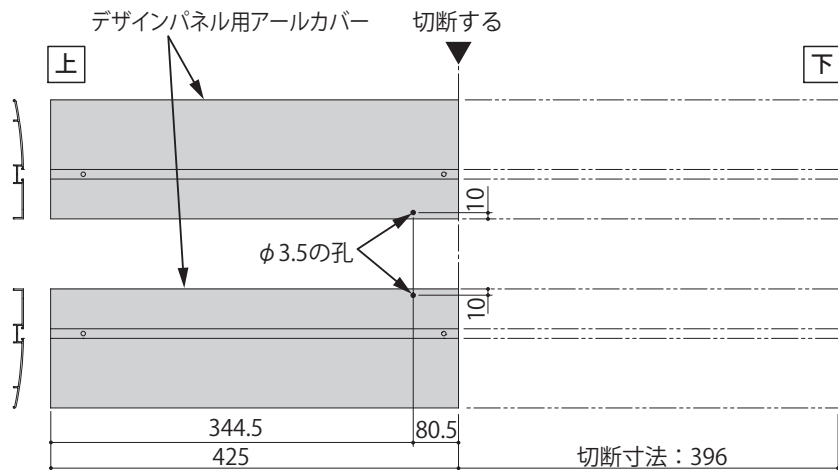
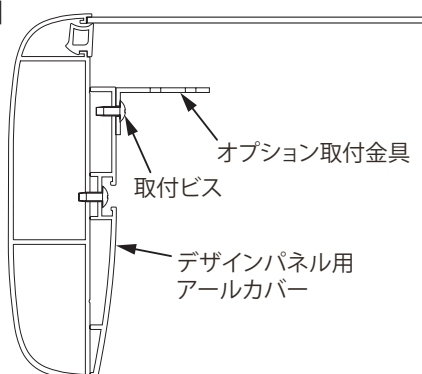


「手順③」で取付けたオプション取付金具を下側にして取付けてください。

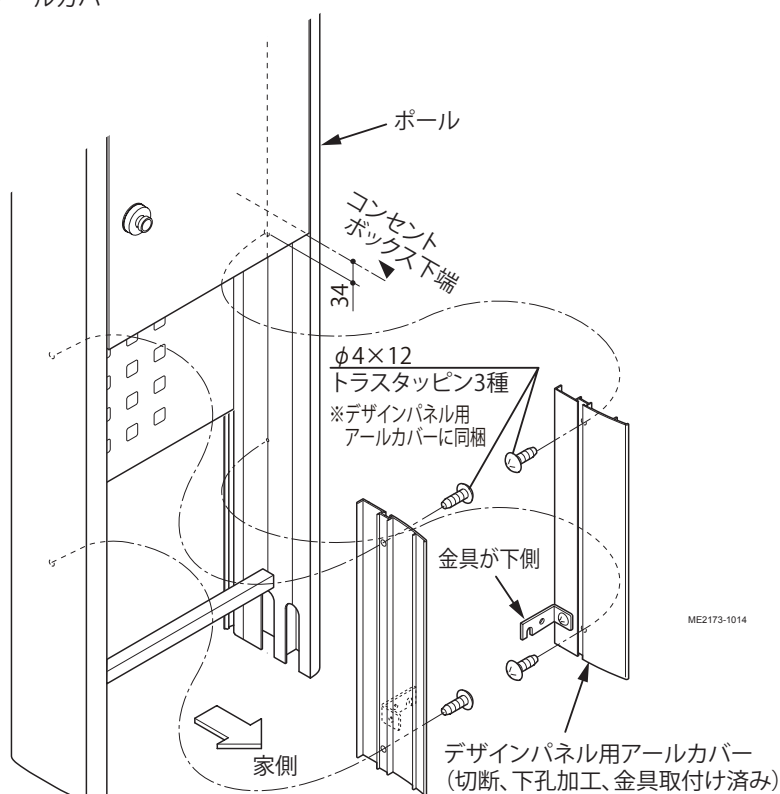
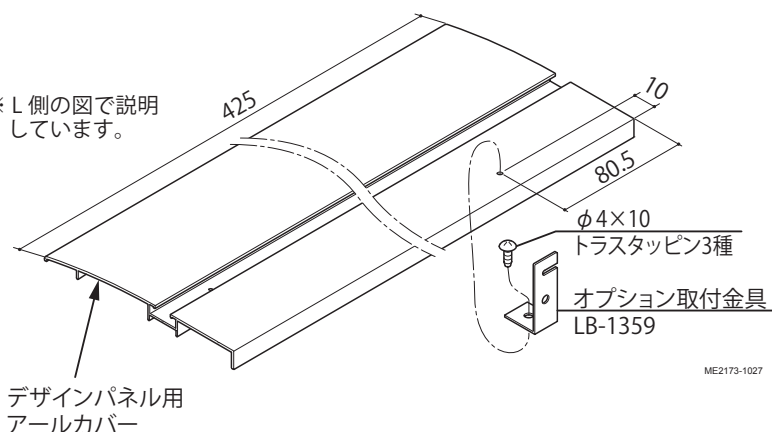


取付ビスは、デザインパネル用アールカバーに同梱されています。

●断面図



※ L側の図で説明しています。



1-7 パネル下側の固定

- ①もう1本のパネル枠にビスを仮止めしてください。



ビス頭を3～4mm 浮かせて仮止めしてください。

- ②パネル枠をパネルの下部に差し込んでから持ち上げて、パネルにはめ込んでください。

- ③オプション取付金具にビス止めしてください。



「手順①」で仮止めしたビス頭を、オプション取付金具の切欠きにスライドさせてください。

- ④「手順①」で仮止めしていたビスを本締めしてください。

- ⑤後付けビードを現物合わせで切断してください。



後付けビードは、板パネル枠セットに梱包されています。



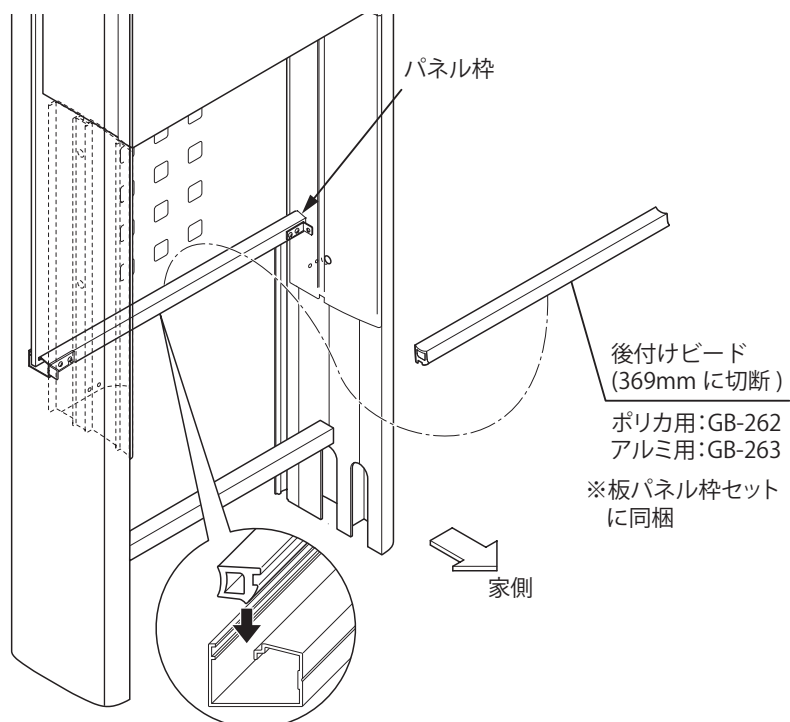
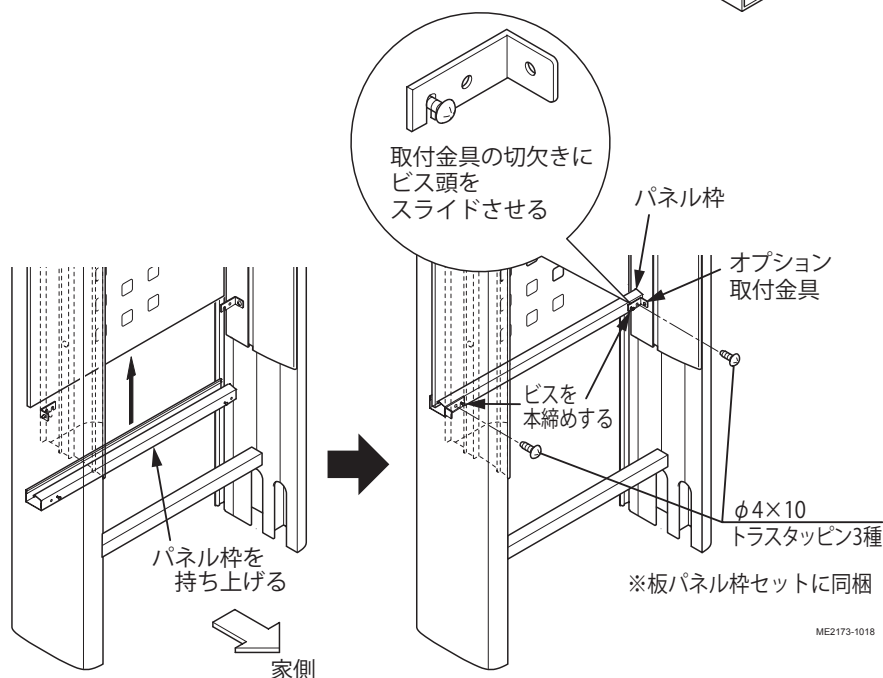
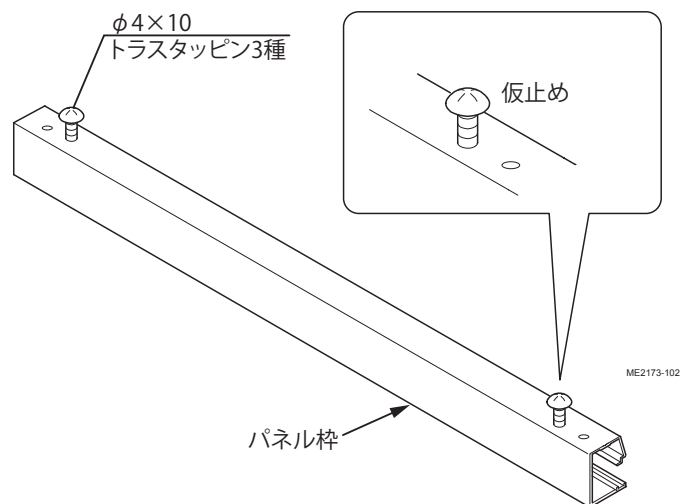
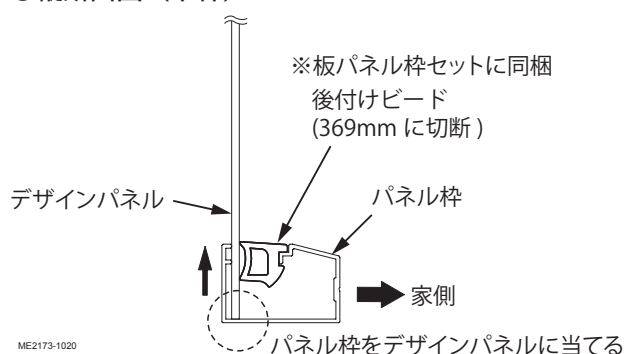
ビードは切断寸法：下枠用 369mm

- ⑥ポールの家側より、下側の溝に後付けビードを取付けてください。



ビードの向きに注意してください。
※断面図のようにしてください。

●縦断面図（下枠）



1-8 先行配管・配線の埋設（電気工事）

⚠ 注意

電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。

※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

①「1-2. ポールの切り欠き加工」で取外した CD 管をポール内に戻してください。

②コンセントボックス用に 2 本の CD 管をポール内に設置してください。



コンセントボックス用の CD 管（2 本）は現場手配してください。

- ・L ポール：100V コンセント用
- ・R ポール：200V コンセント用

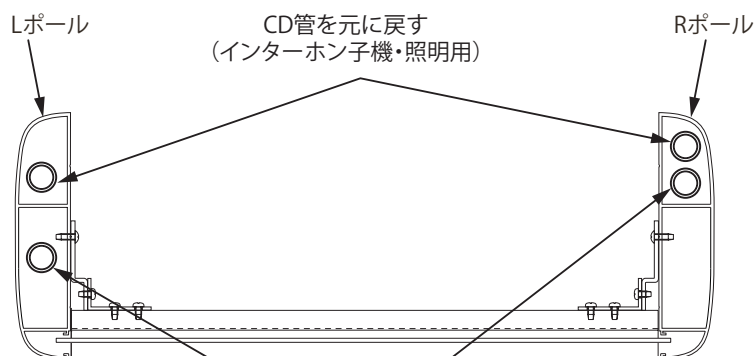
③「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型・タテ型」施工説明書 [ME-2123] の「7. ポールの設置」と同時に、コンセントボックス用の配管および配線を埋設してください。



CD 管と埋設管を接続してください。

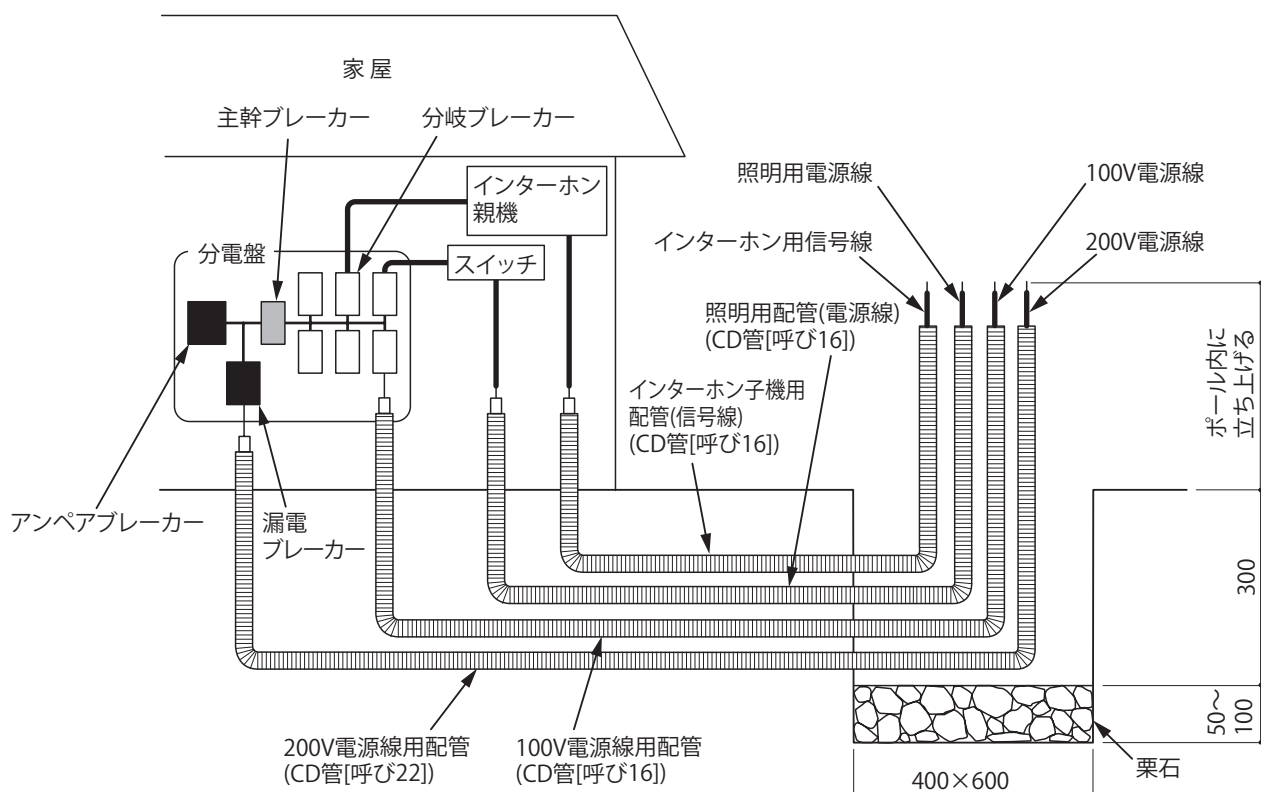
- L ポール：100V 電源用
- R ポール：200V 電源用

●断面図



ME2173-1024

CD 管（現場手配）をポール内に設置する
（100Vコンセント、200Vコンセント用）



ME2173-1023

1-9 ポールの設置

①埋め込み深さ・高さ・垂直水平を調整し、コンクリートを流してポールを固定してください。



ポール埋設時には、ポール背面に十分なスペースを確保してください。

※ポール埋設後に、ポール背面より部品類の取付けを行います。



●コンクリートが固まるまで、添え木等で動かないようにしてください。

●ポールや配管内に水が入らないようにしてください。



ポールの設置後は、「シテラ機能ポールカスタム ヨコ型・タテ型」施工説明書 [ME-2123] にしたがって、下記を行ってください。

- ・インターホン子機の取付け
 - ・照明の取付け
 - ・背面パネルの取付け
 - ・エッジライン・キャップの取付け
- ※「1-1. 施工手順の確認」を参照

1-10 コンセントボックスの配線 (電気工事)



電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。

※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

①パイロットコードを使用して、100V コンセント用、200V コンセント用および 200V 専用タイマー用の配線をポール外へ引出してください。

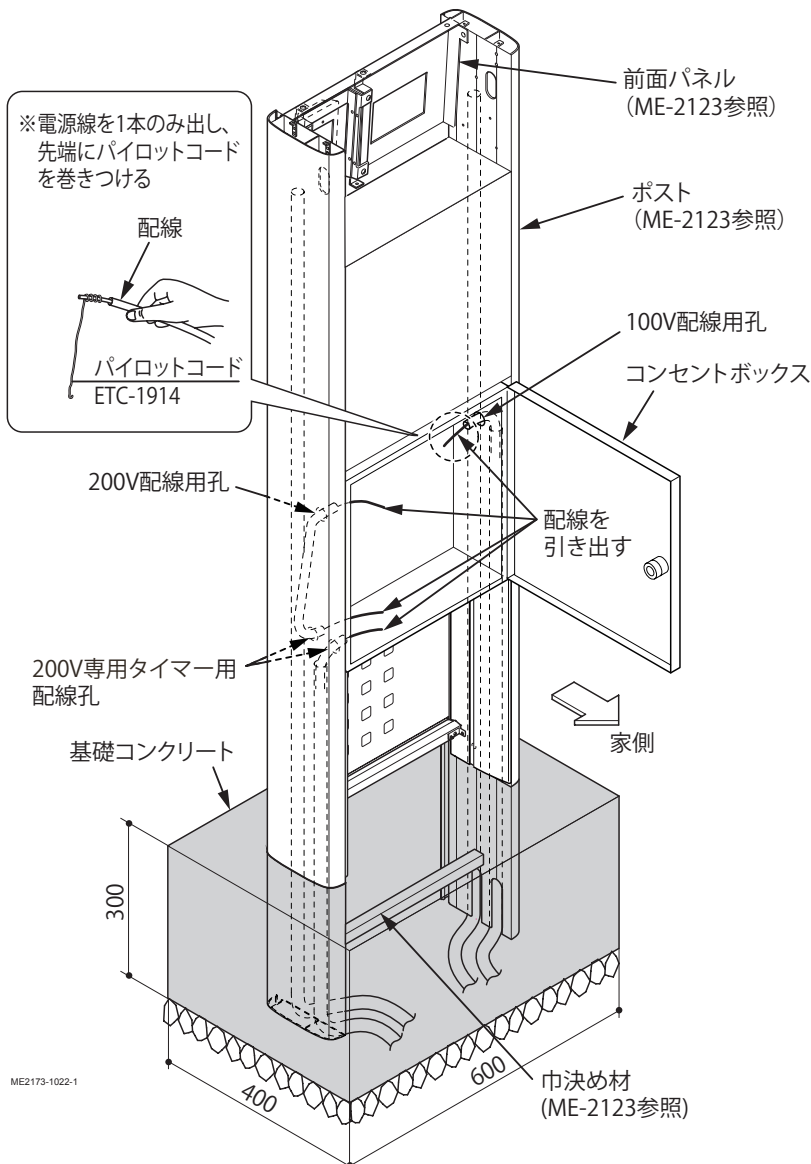


左右のポールから下記の配線を引出してください。

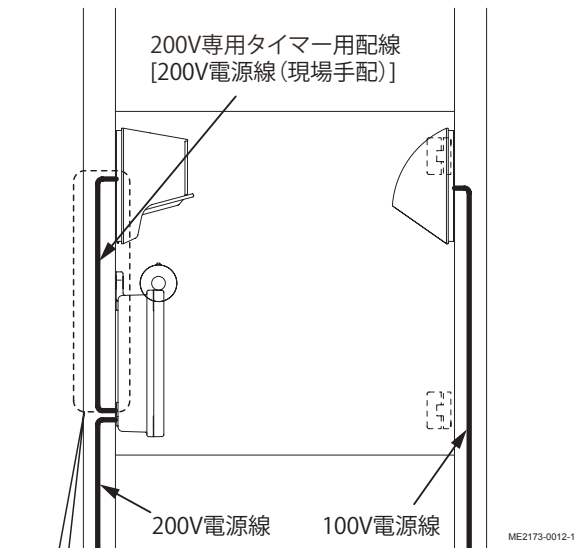
- ・L ポール：100V 電源線
- ・R ポール：200V 電源線および 200V 専用タイマー用配線



200V 専用タイマー用の配線は 200V 用電源線を現場手配してください。



●配線図 (家側より見る)



短く切った200V 電源線

先端にパイロットコードを巻き付けて配線する

2

シテラ機能ポール 1 型への取付け

- シテラ機能ポールカスタムヨコ型の場合は、「3. 電設資材の取付け」（19 ページ）に進んでください。
- 指示のない図は、コンセントボックスをポール正面から見て右側に取付ける場合の図で説明しています。

2-1 施工手順の確認

◎コンセントボックス（本商品）は、ポール本体と同時に施工します。はじめに、下記を参照して施工手順を確認してください。

⚠ 注意

取付手順を守ってコンセントボックスを取付けてください。

※取付手順どおりに施工しないと、機能品やコンセントボックスが取付けられなくなる場合があります。



「シテラ機能ポール」施工説明書 [ME-2092] を合わせて参照してください。

●施工の流れ

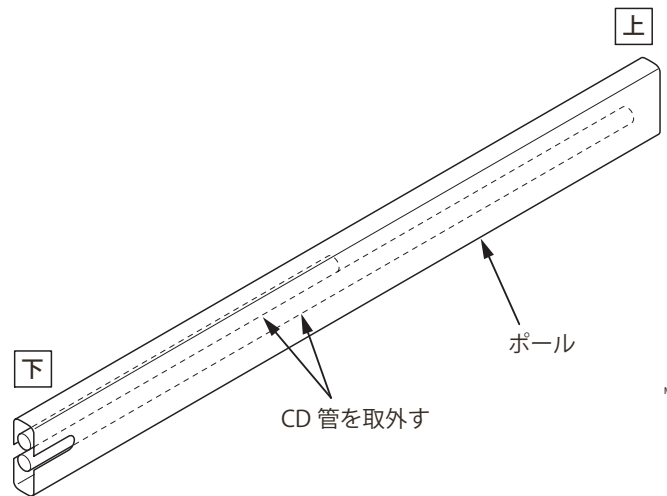
施工手順	参照説明書	章番号 (□)・節番号 ([])	
1) CD 管の取外し	本説明書	[2-2]	
2) コンセントボックスの取付け		[2-3]	
3) 配線孔の加工		[2-4]	
4) 先行配管・配線の埋設（電気工事）	本説明書	[2-5]	インターホン・照明の配線は [ME-2092] 1
5) ポールの設置		[2-6]	
6) インターホンの取付け	ME-2092	2	
7) ポストの取付け		3	
8) サインの取付け		4	
9) 照明の取付け		5	
10) ポールキャップの取付け		6	
11) コンセントボックスの配線（電気工事）	本説明書	[2-7]	
12) 電設資材の取付け（電気工事）		[3-1]	

2-2 CD 管の取外し

- ①出荷時にポール内にセットされている CD 管を取外してください。



取外した CD 管は後工程で再び使用しますので、無くさないようにしてください。



ME2173-2008

2-3 コンセントボックスの取付け

- ①加工用型紙を使用して、コンセントボックスのに $\phi 5\text{mm}$ の孔をあけてください。



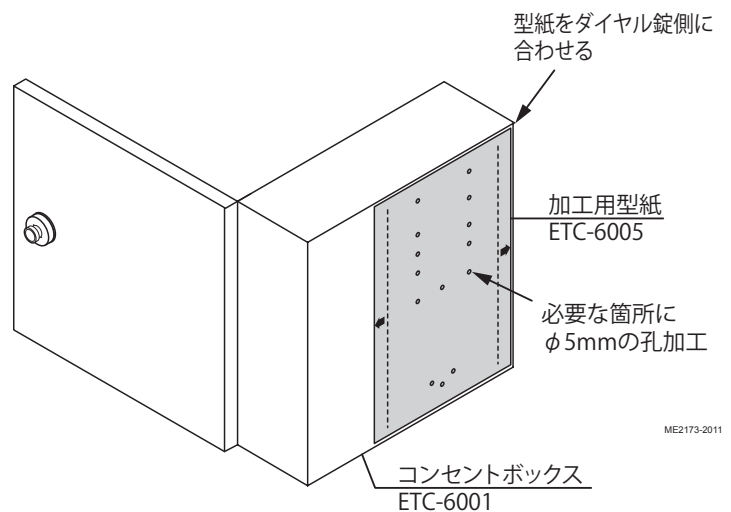
加工用型紙には孔位置マークが 14 ヶ所あります。
使用する電設資材に合わせて必要な箇所に孔をあけてください。



コンセントボックスを取付ける側によって、型紙の当てかたが異なりますので注意してください。

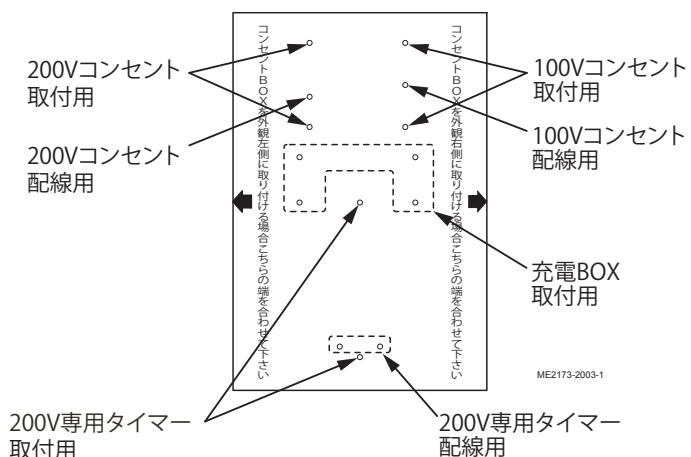
※右図で確認してください。

●ポール正面から見て右側に取付ける場合



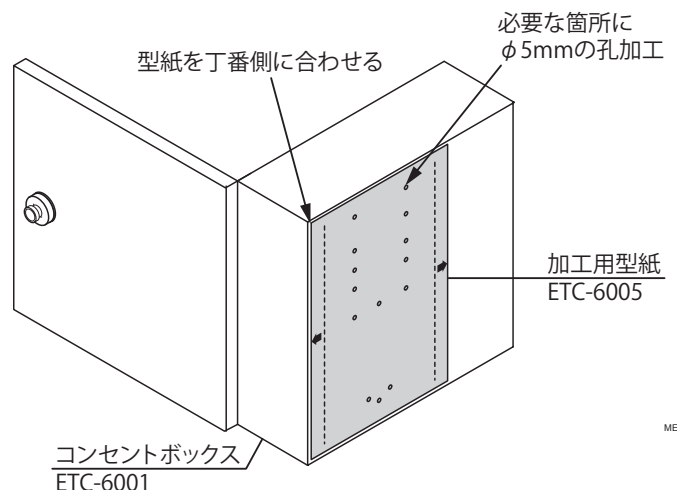
ME2173-2011

●加工用型紙の孔位置と用途



ME2173-2003-1

●ポール正面から見て左側に取付ける場合



ME2173-2002

シテラ機能ポール 1 型への取付け

②コンセントボックスをポールに取付けてください。

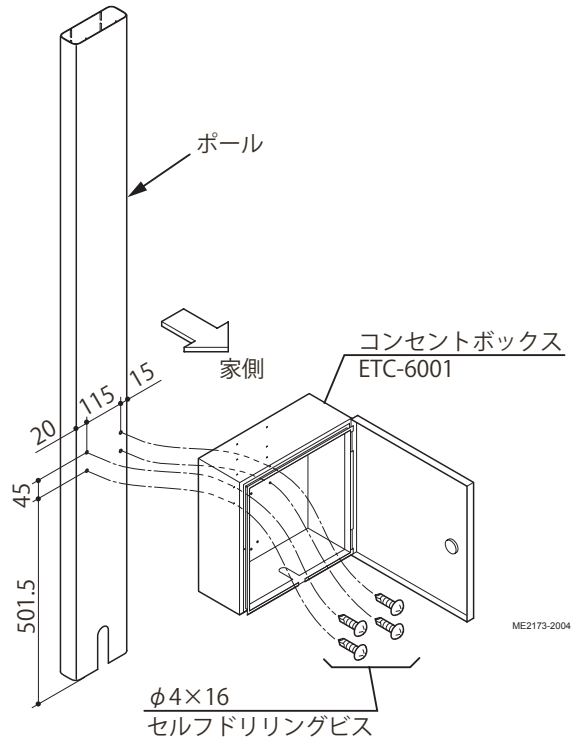
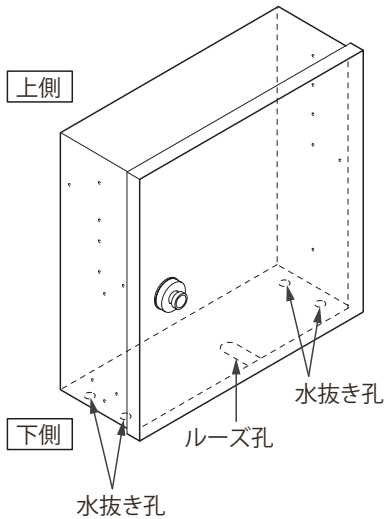


右図の位置にセルフドリリングビスで取付けてください。



コンセントボックスには上下があります。ルーズ孔、水抜き孔のある面が下側です。

●コンセントボックスの上下



2-4 配線孔の加工

①使用する電設資材に合わせて、配線用の孔φ 24mm に広げてください。



- ポールの取付側までφ 24mm の貫通孔をあけてください。
- ポールの反対側まで孔をあけないように注意してください。

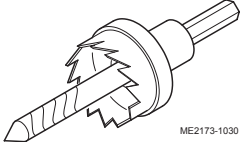
電設資材の種類	孔数
200V コンセント	1ヶ所
100V コンセント	1ヶ所
200V 専用タイマー	2ヶ所



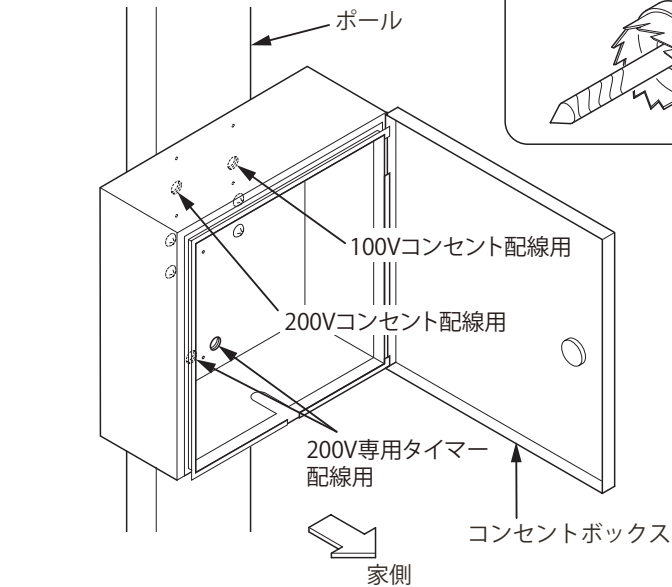
孔あけにはφ 24mm ホールソーを使用してください。

※使用する電設資材に合わせて配線用孔をφ 24mmに広げる(ポールとも貫通孔)

●φ 24mm ホールソー



ME2173-1030

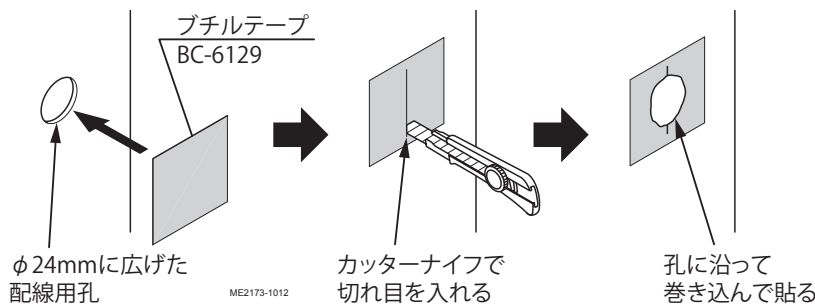


②配線の保護のため、プチルテープをφ 24mm に広げた配線用の孔に貼り付けてください。



プチルテープはコンセントボックスに同梱されています。

③プチルテープの中心にカッターで切れ目を入れて、配線孔に沿って巻き込んで貼り付けてください。



2-5 先行配管・配線の埋設（電気工事）

⚠ 注意

電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。

※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

①ポールにインターホン子機および照明を取付ける場合は、「2-2.CD 管の取外し」で取外した CD 管をポール内に戻してください。

②コンセントボックス用に 2 本の CD 管をポール内に設置してください。



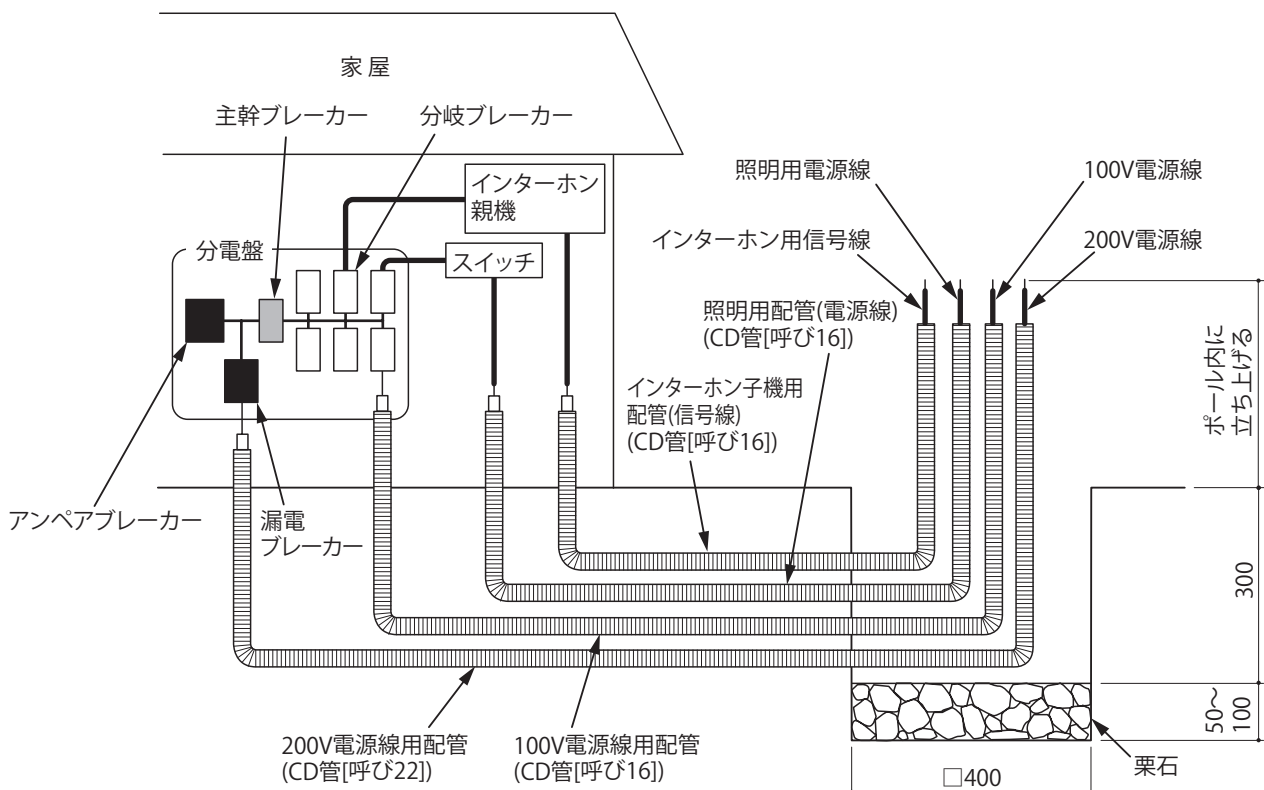
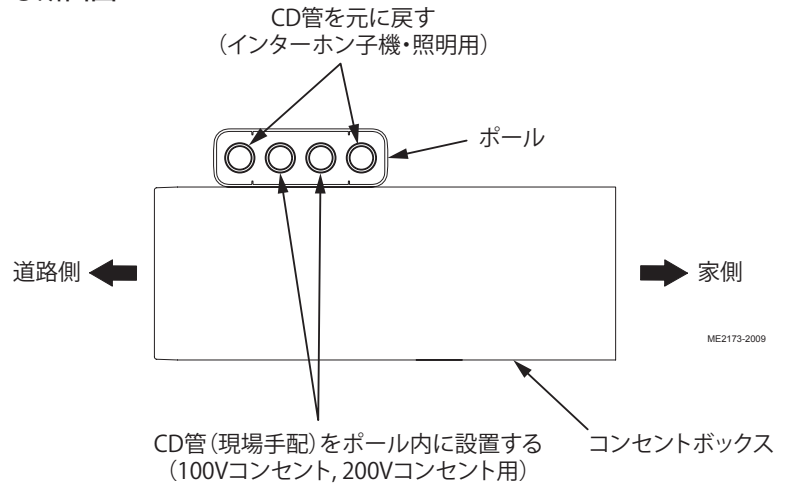
コンセントボックス用の CD 管（2 本）は現場手配してください。

③「シテラ機能ポール」施工説明書 [ME-2092] の「1. ポールの設置」と同時に、コンセントボックス用の配管および配線を埋設してください。



CD 管と埋設管を接続してください。

●断面図



ME2173-2007

2-6 ポールの設置

①埋め込み深さ・高さ・垂直水平を調整し、コンクリートを流してポールを固定してください。



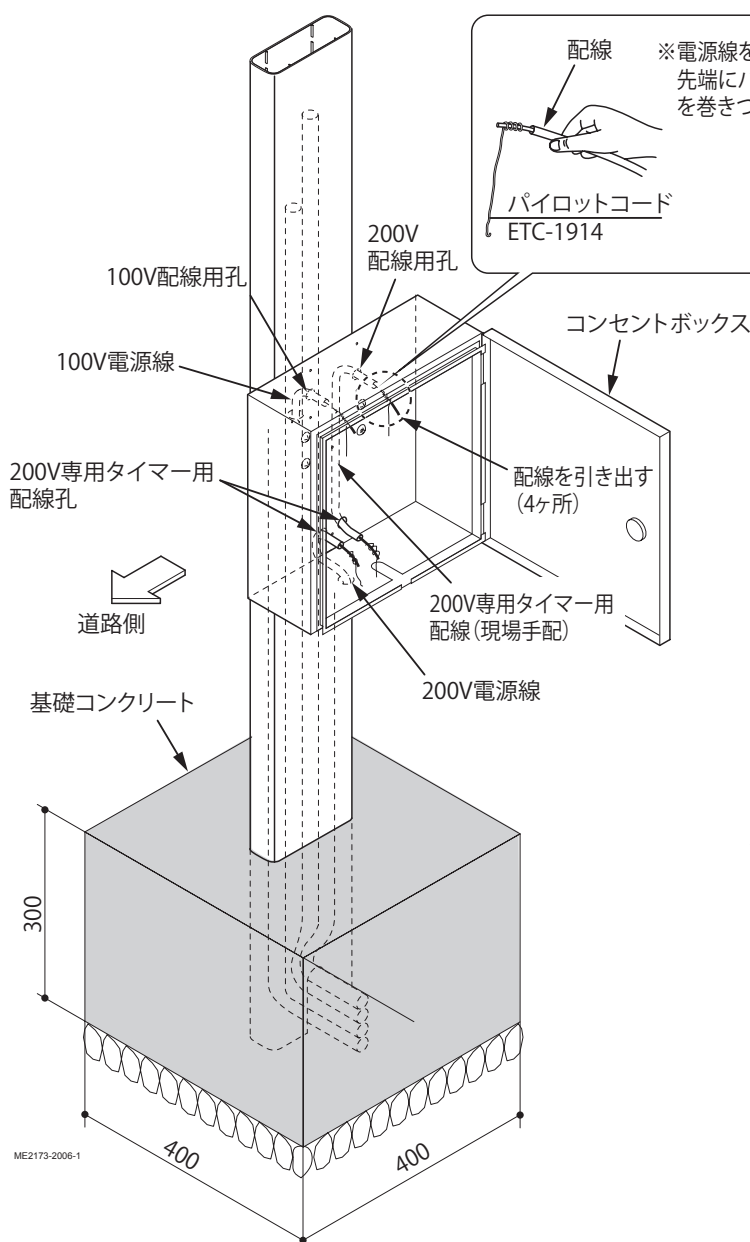
- コンクリートが固まるまで、添え木等で動かないようにしてください。
- ポールや配管内に水が入らないようにしてください。



ポールの設置後は、「シテラ機能ポール」施工説明書[ME-2092]にしたがって、下記を行ってください。

- ・インターホンの取付け
 - ・ポストの取付け
 - ・サインの取付け
 - ・照明の取付け
 - ・ポールキャップの取付け
- ※「2-1. 施工手順の確認」を参照

※本図は、コンセントボックスをポール正面から見て右側に取付ける場合の図を示しています。



2-7 コンセントボックスの配線 (電気工事)



電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。

※火災・漏電・感電など事故の原因になります。

①パイロットコードを使用して、100V コンセント用、200V コンセント用および 200V 専用タイマー用の配線をポール外へ引出してください。



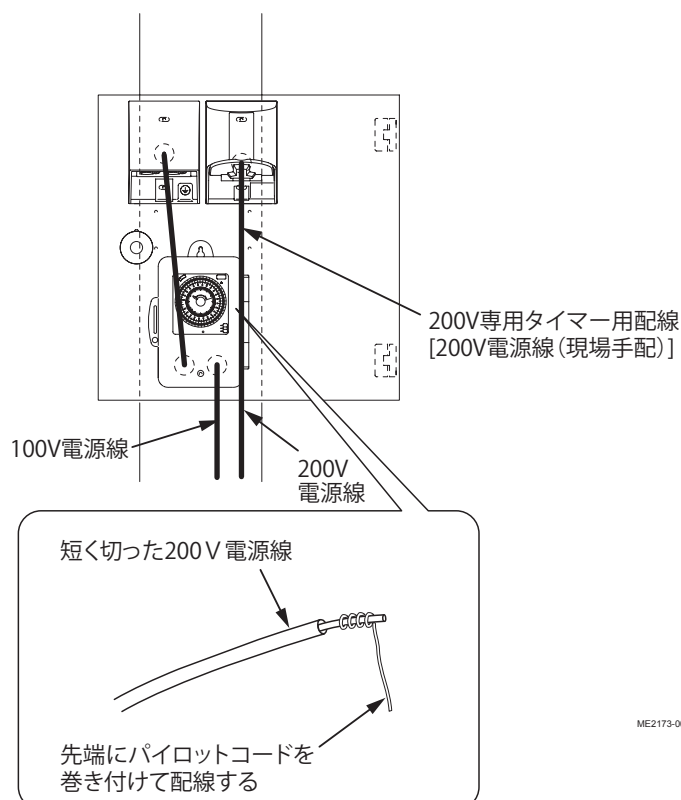
ポールから下記の配線を引出してください。

- ・100V 電源線
- ・200V 電源線
- ・200V 専用タイマー用配線



200V 専用タイマー用の配線は 200V 用電源線を現場手配してください。

●配線図（扉側より見る）



3

電設資材の取付け (電気工事)

●電設資材に付属の説明書を合わせて参照してください。

3-1 電設資材の取付け

⚠ 注意

電気工事は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。

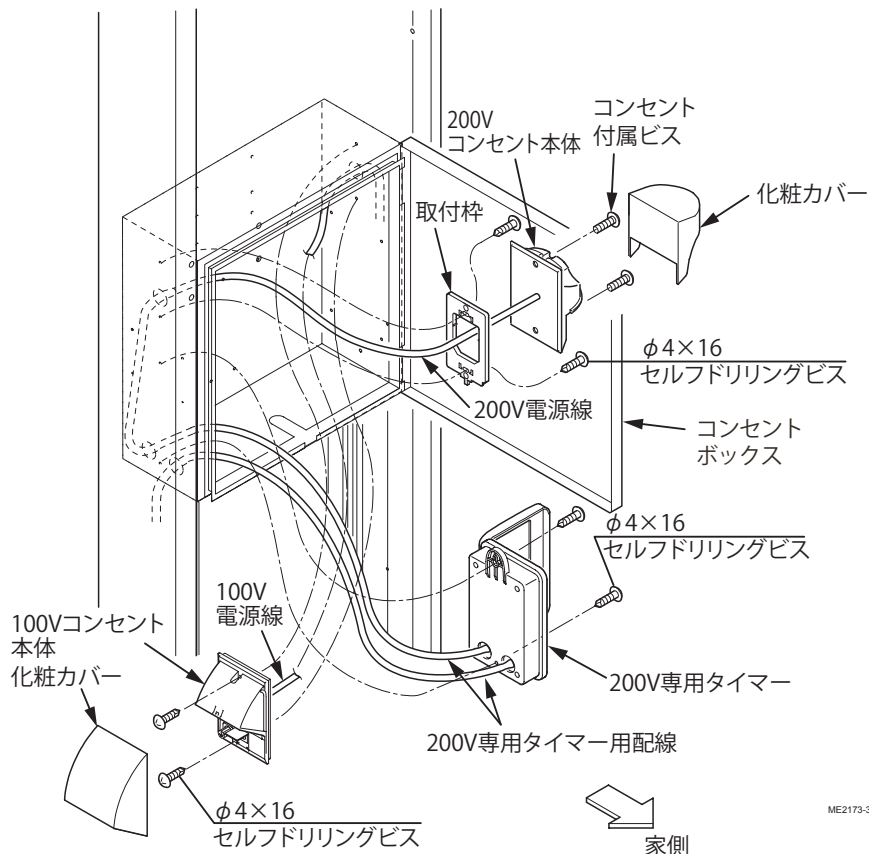
※火災・漏電・感電など事故の原因になります。



結線および取付けの詳細については、電設資材に付属の説明書を参照してください。

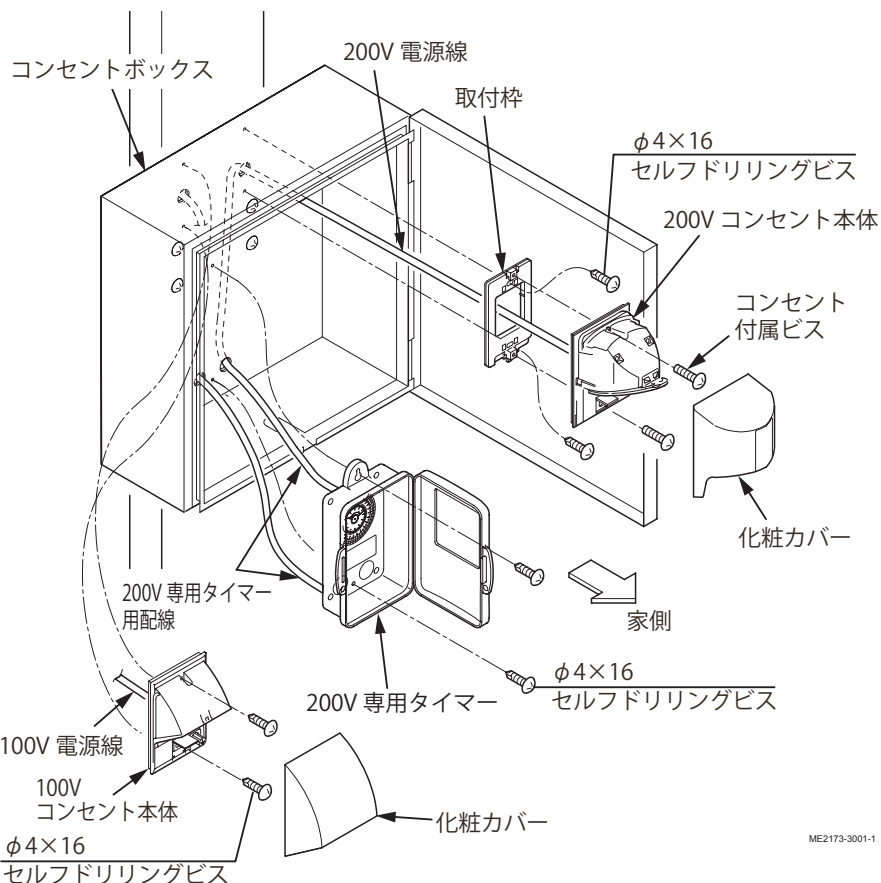
- ①ポール内より引出した配線と電設資材を結線してください。
- ②コンセントボックスにコンセントおよび200V 専用タイマーを取付けてください。

●シテラ機能ポールカスタム ヨコ型の場合



ME2173-3002-1

●シテラ機能ポール 1 型の場合



ME2173-3001-1

3-2 動作確認

- ①施工完了後、ブレーカーを ON にし、コンセントに電源プラグを差し込み電流が流れていることを確認してください。
- ② 200V 専用タイマーに付属の説明書にしたがって 200V 専用タイマーの設定し、正しく動作するか確認してください。
- ③確認後、ブレーカーを OFF にしてください。

4

ダイヤル錠の使いかた

⚠ 注意

- ダイヤル錠に足をかける、重いものを掛けるなど、無理な操作をしないでください。
- ダイヤル錠は開閉以外の操作は行わないでください。
- ※思わぬ事故や破損の原因になります。とくにお子様のいらっしゃるご家庭ではご注意ください。

■ダイヤル錠を開錠する

※出荷時は「右に0」「左に6」に設定されています。

- ①ダイヤルを右に2回以上回してリセットします。
- ②ダイヤルを右（時計方向）に回し[0]に合せます。
- ③ダイヤルを左（反時計方向）に回し[6]に合せると開錠します。

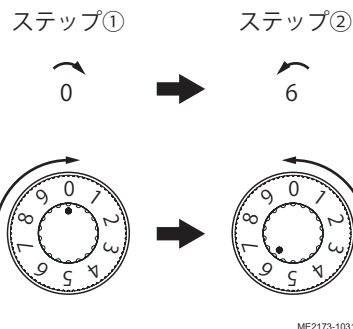
■ダイヤル錠を施錠する

- ①コンセントボックス扉を閉めて、ダイヤルを回すと施錠します。

■開錠番号を変更する

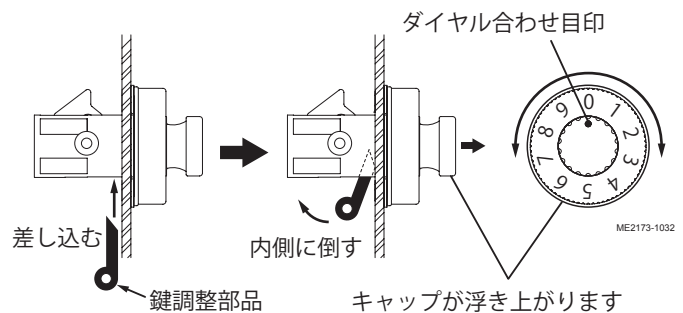
※開錠番号は変更することができます。開錠番号の組合わせは開錠番号一覧表をご参照ください。また、開錠番号の組合わせは一覧表の番号以外にはありません。ご了承ください。

- ①ダイヤル錠を開錠してコンセントボックス扉を開けます。
- ②付属の鍵調整部品をダイヤル錠の下から差し込み、コンセントボックス内側に倒します。
→ダイヤル合わせ目印キャップが浮き上がります。
- ③キャップを浮かせた状態でそのままキャップを回転させ、開錠番号一覧表のステップ②のいずれかの番号に合せます。
(ステップ①の番号に合せる必要はありません。)
→設定が変更されます。
- ④鍵調整部品を抜き、キャップを元に戻します。



●開錠番号一覧表

ステップ① 右へ	→	ステップ② 左へ
0	→	6
1	→	7
2	→	8
3	→	9
4	→	0
5	→	1
6	→	2
7	→	3
8	→	4
9	→	5



- 付属シールに変更後の開錠番号を記入してわかりやすい場所に貼付けておくくと便利です。
- 開錠番号がご不明の際の責任は負いかねます。ご了承ください。
- 鍵調整部品は、無くさないよう大切に保管してください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年	月	日
施 工 工 事 店	TEL (	)	-
販 売 店	TEL (	)	-

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室



0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ <http://www.lixil.co.jp>